

呉の景気観測 (D I 方式)

呉商工会議所

- 平成27年6月調査結果 -

呉市企業の今期の景況は、2期連続で回復の推移
 - 回復の兆しが見えるものの、原材料高・人材不足など先行は慎重な見方が伺える -

- ・調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・平成27年6月を前年同月と比較
- ・平成27年7月～9月の先行き見通しを平成27年6月と比較
- ・調査時期 6月中・下旬
- ・調査対象 呉市内の業種別主力企業100社 (回答81社、回収率81%)

【D I 方式について】
 D I (ディフュージョン・インデックス) は、各調査項目について判断の状況を示す。
 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす。
 D I = (増加・好転等「良い」の回答割合) - (減少・悪化等「悪い」の回答割合)

・6月の景況を見ると、下の表の通り、
総合(全業種) D I (良い-悪い) は△15.0 → △6.2 と、全体では前期に比べ、+8.8 と上昇の推移。
業種別では、**製造業**は、約8.1割の企業が横ばいの回答で、D I は△6.7 → 0.0 と改善した。
非製造業は、約7.5割の企業が横ばいの回答で、D I は△25.7 → △13.9 と上昇した。

・7～9月の先行き見通しでは、
総合(全業種) D I は△1.3 → △4.9 と、前回予測から-3.6 と下降する見通し。
業種別では、**製造業**は、D I は4.4 → 0.0 と少し悪化する見通し。
非製造業は、D I は△8.5 → △11.1 と少し悪化する見通し。

総合(全業種)では、△15.0 → △6.2 と、呉市の景況は前期に比べ、+8.8 と上昇の推移。来期は△1.3 → △4.9 と、前回予測から悪化する見通し。
業種別概況は、製造業・非製造業共に改善の推移となった。6月調査による7～9月先行き D I 数値は、3月調査による4～6月先行き見通しに比べて製造業・非製造業共に少し悪化する見通しとなった。
呉市の景況は、全体的に今期は回復の兆しが見られる。製造業は円安の影響で原材料価格が依然として高く、収益が圧迫される状況ではあるが、受注や仕事量が増加するなど一部明るさが見受けられた。非製造業は、前期に比べ改善の推移となっているが、消費の回復が弱く仕入コストも上昇する傾向で、回復に力強さを欠いている。
来期の景況については、依然として円安による原材料価格の上昇や人材不足が続くなど先行きに対し慎重な見方が伺える。

	27年 3月実績	27年 6月実績	今期			3月調 4～6月 見通し	6月調 7～9月 見通し	来期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合(全業種)	△15.0	△6.2	7.4	79.0	13.6	△1.3	△4.9	4.9	85.2	9.9
製造業	△6.7	0.0	9.1	81.8	9.1	4.4	0.0	6.8	86.4	6.8
非製造業	△25.7	△13.9	5.5	75.0	19.4	△8.5	△11.1	2.8	83.3	13.9
建設業	△14.3	△14.3	14.3	57.1	28.6	△28.6	△14.3	14.3	57.1	28.6
卸売業	△38.5	△28.6	0	71.4	28.6	0.0	△14.3	0	85.7	14.3
小売業	△25.0	0.0	11.1	77.8	11.1	△12.5	△11.1	0	88.9	11.1
サービス業	△14.3	0.0	0	100	0	0.0	0.0	0	100	0

業種別景況 D I

